

NISHIHYOGO SHINKIN BANK 2022

目次

ごあいさつ	2
経営理念・行動規範	3
にしん中期経営計画2021	3
西兵庫信用金庫と地域社会	4
地域社会への貢献活動	5
地域密着型金融に関する取組み	7
金融仲介機能のベンチマークについて	8
令和3年度の事業概況	9
自己資本の充実の状況	10
リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況等	10
総代会制度	11
組織体制	13
役員一覧	
子会社等の状況	
コンプライアンス(法令等遵守)の態勢	14
統合的リスク管理の体制	15
お客さま保護への取組み	16
主な業務のご案内	17
一年間の出来事	19
にしんのあゆみ	20
事務所の名称及び所在地	21
営業地区・店舗網	
店舗一覧	
店外キャッシュサービスコーナー	

金庫の概要

■ 創 業	昭和23年8月15日
■ 所 在 地	兵庫県宍粟市山崎町山崎190番地
■ 電 話 番 号	0790-62-7701(代表)
■ 出 資 金	969,565千円
■ 会 員 数	25,940名
■ 店 舗 数	27店舗
■ 店外ATM	9カ所
■ 常勤役員数	359名
■ 預 金 量	518,793百万円
■ 融 資 量	216,761百万円



(令和4年3月31日現在)



ごあいさつ

地域で最も信用、 信頼される金融機関をめざして

理事長 桑垣喜一

平素は、西兵庫信用金庫に格別のお引き立てを賜り心より厚くお礼申し上げます。本年も皆様がより一層当金庫についてご理解いただくことを願い、当金庫の経営理念、業績、経営内容等をまとめた「西兵庫信用金庫の現況2022」を作成いたしました。ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルスの波状的な感染拡大により、我が国の経済活動は長期間にわたって制約され、景気も停滞しました。夏以降は新規感染者数が急激に減少に転じ、経済活動の正常化に向けて明るい兆しを感じられたものの、冬に入ると新たな変異株による感染第6波が急速に拡大し、先行きは不透明な状況となりました。取引先中小企業の業況は、飲食や宿泊などの対面型サービスを中心に引き続き低迷しており、本格的な回復は新型コロナウイルスの感染拡大の影響等に左右される状況となっています。また、足元ではロシアによるウクライナ侵攻とそれに伴う経済制裁などにより原油をはじめ資源価格が高騰しており、経済への影響が懸念されています。

このような情勢下、昨年度は当金庫の3カ年計画「にしん中期経営計画2021(持続可能な地域社会の実現へ、地域と寄り添い共に歩

む)」の初年度として、役職員一丸となって取り組みました。その結果、業務純益は20億5千万円、当期純利益は14億86百万円を計上することができました。

令和4年度については、昨年度に続き不安定な経済環境の中、ポストコロナへの社会の急速な流れが進んでいくことが見込まれ、地域経済は、少子高齢化や中小企業数の減少、後継者不足といった根源的な問題への対応に加え、脱炭素やデジタル化への対応など大きな変化を迫られています。

令和4年度は3カ年計画「にしん中期経営計画2021」の2年目となります。今年度はこの方針の具体化を一步進め、地域経済を支えるために取引先中小事業者の資金繰り支援はもとより、事業回復に向けた本業支援、経営改善支援の取組みを当金庫の中心に据えて体制を一層強化するとともに、ポストコロナを見据え、営業店が現場力を存分に発揮するよう、新しい営業態勢の構築、それを実現するための人材育成を進めるべく、役職員一丸となって取組んでまいります。

今後とも何卒、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月